

モニタリング結果報告書 (平成29年度)

1. 施設概要

施設名	東高根森林公園		
所在地	川崎市宮前区神木本町2丁目		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/higasitakane/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進 (S53.4.25)		
指定管理者名	東高根森林公園パートナーズ		
指定期間	H27.4.1～H32.3.31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>・利用状況の評価はA、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はAとなった。</p> <p>・公園資源の積極的な活用と地域との連携によるイベントなどの利用促進が図られており、目標値以上の利用者数を得ると同時に満足度も最高評価となっている。一方で、利用過多による芝生地の裸地化の進行や樹林地整備の在り方も考慮した植物管理を取り組んでいく必要がある。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 ・年間120回ほどのイベントを実施し利用促進が図られているが、古代体験や昆虫観察会や鳥の巣箱づくりなど親子を対象としたイベントがいくつか未実施であった。計画的なイベントの開催や蓄積された情報の発信を通じ、本公園の資源である遺跡や天然記念物などの特性について理解を促す更なる取組を期待したい。また、事故が複数回発生した。利用者の目線に立った施設点検、想定外も意識した意識改革など安全確保に向けた一層の取組を期待したい。</p> <p>◆利用状況 ・昨年度より約1千人増加した。目標達成率は107.5%であり、A評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 ・県が年間5回調査を実施し、上位2段階の回答割合が92.7%となったため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 ・支出実績は、344千円の赤字(収支比率99.38%)であるためB評価となっているが、利用促進事業による図鑑やグッズ販売、イベント実施時の参加料により不足分を補い、収支は均衡(100.2%)している。</p> <p>◆苦情・要望等 ・公園外周の人家に配慮した高木管理を段階的に実施している。また、設備的に難しい要望に対しての工夫も見受けられた。</p> <p>◆事故・不祥事等 ・パークセンター内で幼児がテーブル角に衝突した事故については、テーブル角の面取りや幼児の事故を誘発しそうな遊具等の撤去により再発防止に努めた。 ・強風で飛ばされたパラソルによってベビーカーに乗っていた幼児が転倒した事故については、固定金具付きのパラソルに更新し毎日1時間毎の点検を実施することで再発防止に努めた。 ・高木剪定作業中のフェンス破損事故については、作業時における危険予知活動や養生の徹底により再発防止に努めた。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 ・県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 ・以上を総合的に勘案し、平成29年度の3項目評価についてはA評価とした。</p>	
A	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無し	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	毎月1～2回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
多種多様な生物の有する豊かな生態系の保全・育成を行う。	樹林地内の下草刈りを定期的に行い、良好な林床を維持している。	芝生復旧計画や修景木をはじめとした樹林地全体の整備計画の早期の策定が望まれる。
公園の魅力(歴史・文化・自然)を教材とした学習の機会を創出する。	歴史・文化体験型は計30回、自然体験型は計31回実施している。特に自然体験型の田んぼの学校は好評を得ている。	親子を対象としたイベントの中止が目立った。計画に基づいたイベントの開催が望まれる。
専門技術や知識を持つ方々と連携し、学習内容やプログラムを充実させる。	外部講師やアマチュア団体等と連携した利用促進は55回実施している。	利用者ニーズや公園のコンセプトに応じた新たな企画が望まれる。
地域に活動情報を計画的に提供するほか、地域活動に積極的に参加する。	小学校の総合学習受入れを実施。防災訓練や収穫祭など世代間交流に対する取組を実施している。	世代間交流の場として更なる工夫や取組みが望まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
有料駐車場事業による利便性の向上、安全確保、緑化協力金の徴収を行う。	提案どおり実施している。
既存自動販売機の継続設置。	提案どおり実施している。
古代植物園の植物を紹介するガイドブックを発刊する。	企画中であり、発刊に至っていない。(次年度に予定)
公園のオリジナルグッズとしてハチミツを用いた製品の企画を進める。	ハチミツのオリジナルグッズの販売に至っていない。(ハチミツに代替するオリジナルグッズの企画を次年度に予定)

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値(定員数等)があれば記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成29年度
利用者数※	373,795	365,760	376,126
対前年度比		97.9%	102.8%
目標値	350,000	350,000	350,000
目標達成率	106.8%	104.5%	107.5%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法(対象)： 駐車台数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 111 / 111 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	66	35	2	7	1	111	手入れがよくできています
回答率	59.5%	31.5%	1.8%	6.3%	0.9%		
前年度の回答数	78	34	2	2	3	119	
前年度回答率	65.5%	28.6%	1.7%	1.7%	2.5%		
回答率の対前年度比	90.7%	110.4%	107.2%	375.2%	35.7%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマ イナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々 年度	当初 予算	45,924	0	8,169	駐車場5,842 自販機2,327	54,093	54,093	0	
	決算	45,984	0	8,639	駐車場6,367 自販機2,272	54,623	55,368	-745	98.65%
前 年度	当初 予算	46,169	0	9,176	駐車場6,220 自販機2,956	55,345	55,345	0	
	決算	46,169	0	9,475	駐車場6,763 自販機2,712	55,644	56,726	-1,082	98.09%
29 年度	当初 予算	46,169		8,944	駐車場6,460 自販機2,484	55,113	55,113	0	
	決算	46,169		8,601	駐車場5,933 自販機2,668	54,770	55,114	-344	99.38%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

29年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

利用促進事業として行った、図鑑やグッズの販売による収益：225千円、イベント参加料：230千円により、マイナスの収支：344千円を補っている。(収入：55,225千円/支出：55,114千円=100.2%)

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況	
施設・設備	アンケート	1 件	・パークセンターに空調設備設置を要望。	パークセンター内の休憩所にエアコンを設置。
	口頭	1 件	・授乳室設置を要望。	職員用休憩室を利用可とする。
	口頭	1 件	・パークセンター内冷水器設置を要望。	熱中症対策としてペットボトルの冷水を常備。
	口頭等	4 件	・越境樹木の剪定・伐採。落ち葉対策。	剪定、伐採及び清掃を実施。
	口頭	1 件	・段差部にプランター設置を要望。	プランターを設置
職員対応	電話	1 件	・公園利用者が公園外ゴミ置き場にゴミを持ち込む。注意喚起を要望。	注意喚起看板設置。園内放送にて注意喚起実施。
	電話	1 件	・スズメバチの巣の除去を要望。	ハチトラップを設置し巣を除去
事業内容	メール	1 件	・ジョギングを可とする掲示板設置を要望。	利用者同士での譲り合いをお願いする
	口頭	1 件	・池の水が汚い（夏場）。	清掃の徹底と補給水増で改善
	文書	1 件	・ザリガニ駆除イベントの中止要請。	イベントの趣旨を説明した上で開催
その他	メール	1 件	・本来公園に無い絶滅危惧種が存在している。	第三者が持ち込んだものと判断。生態系への影響が低いことから存置。

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
H29. 5. 17	①パークセンター内の積み木コーナーで遊んでいた幼児がテーブル角に歯茎を衝突した。 ②テーブル角にクッション材を設置するなど再発防止を指示（H29. 5. 18） 幼児の事故を誘発しそうな輪投げ用ツリー等の遊具や道具箱等の撤去を指示（H29. 5. 25） ③幼児は病院受診。前歯を折った。テーブル角面取り及び施設内の一部遊具撤去により再発防止。 ④無 ⑤無 ⑥無
H29. 5. 23	①外部のテーブルベンチに取り付けられていたパラソルが強風で飛ばされベビーカーに衝突。 ベビーカーとベビーカーに乗っていた幼児が地面に転倒した。 ②パラソルの使用中止を指示。（H29. 5. 24） ③毎日1時間毎のパラソル設置状況の点検及び固定金具付きのパラソル更新により再発防止。 ④無 ⑤有：県負担でパラソルを更新。 ⑥無
H29. 5. 23	①指定管理者が発注した造園会社が園内高木伐採作業中に切断した木がフェンスに落下したことで、フェンスを破損した。 ②指定管理者に指導書を発出し、再発防止を指示（H29. 5. 29） ③作業にあたり、危険予知活動の向上や作業時の養生対策の徹底等により再発防止。 ④無 ⑤有：造園会社負担でフェンスを復旧。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無し	
職員の配置体制	無し	
労働時間	無し	
職場環境	無し	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。